

開館55周年記念

館蔵名品展

- 会場 2階 企画展示室
1階 松平家史料展示室・館蔵品ギャラリー
- 会期 平成20年3月20日(木)～5月6日(火)
[休館日] 4月14日(月)

福井市立郷土歴史博物館は昭和28年、足羽山に開館し、平成16年に現在地へ移転しました。今年は開館からちょうど55年という記念の年となります。

そこで今回、越前松平家に伝えられた品々を中心に古文書・工芸・絵画・書といった多岐に渡る館蔵品の中から、当館を代表する資料を選びすぐって展示いたします。半世紀以上にわたって収集された当館の豊富な資料から福井市の歴史と文化を感じ取っていただければと思います。

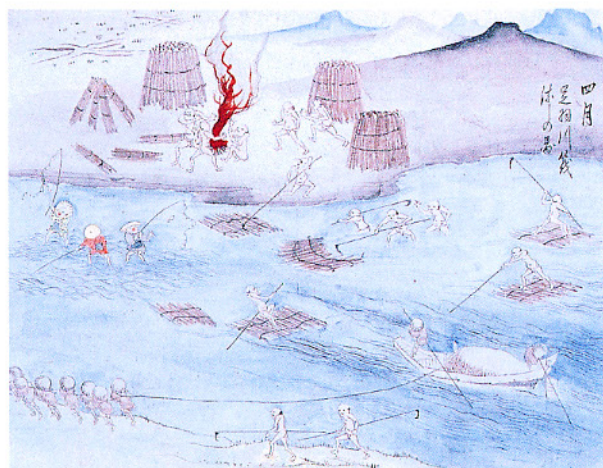
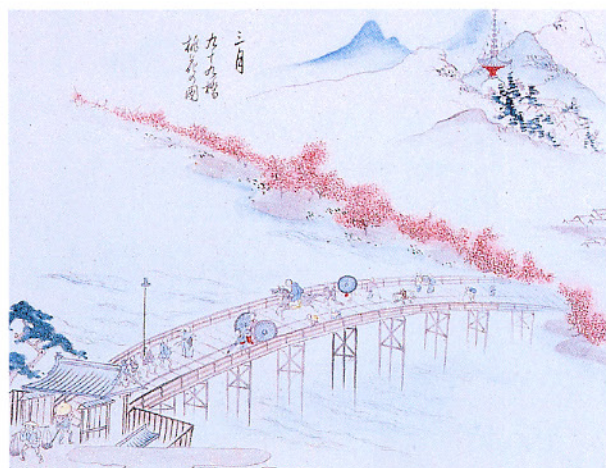
1. 北庄から福井へ

[2階企画展示室]

現在の福井市の中心部。このあたりが、本格的な都市として歴史を歩み始めるのは、北庄に居城を構えた柴田勝家の時代からです。その後、結城秀康が越前国へと封ぜられ、城下町としての姿を整えていきました。ここを舞台に様々な都市の文化が生まれました。



福井城下眺望図(写)(福井市春嶽公記念文庫)



福井藩十二ヶ月中行事絵巻(福井市春嶽公記念文庫) 三月・四月

2. 越前松平家の大名道具 [2階企画展示室]

福井藩主松平家は、徳川家康の実子結城秀康を祖とすることから、御三家に次ぐ家格に列せられました。その松平家に代々伝えられてきたものの中に大名道具があります。それらは、武具や公的な儀礼に用いられた調度^{ちょうど}からなる表道具^{おもてどうぐ}と、大名やその私的な生活や趣味に用いられた調度^{おくどうぐ}からなる奥道具とに分けられます。



茶壺「初花」(越葵文庫)



『源氏物語』写本 賀茂真淵筆
(福井市春嶽公記念文庫)



金小札緋糸威二枚胴具足(越葵文庫)

3. 近代の名品 [1階松平家史料展示室]

近代科学の知識や器具は江戸時代後半から既に海外からもたらされ、国内での生産も試みられていました。福井藩、特に松平春嶽^{まつだいらしゅんがく}はそういった海外からの新しい知識や技術に関心を持ち、積極的に受け入れました。また、明治に入って天皇家から松平家に下賜された品々には近代の技術と伝統的な技法の優れた融合をみることができます。



科学器具類 松平春嶽所用(福井市春嶽公記念文庫)



山桜七宝花瓶(福井市春嶽公記念文庫)

4. 博物館の逸品 〔1階館蔵品ギャラリー〕

当館には重要文化財3件が寄託されています。阿弥陀二十五菩薩来迎図（安養寺蔵）、地藏菩薩像（性海寺蔵）はともに鎌倉時代に描かれたもので、すぐれた描写力と今なお美しい彩色、金による精巧な模様をみることができます。朝倉孝景像・義景像（心月寺蔵）はともに朝倉家の菩提寺心月寺に伝えられました。その的確な描写からは朝倉文化の高さがうかがわれます。その美しさと高い技術、そこに込められた思いをじっくりとご覧ください。



◎阿弥陀二十五菩薩来迎図(部分) 安養寺蔵
3月20日(木)～4月6日(日)展示



◎地藏菩薩像(部分) 性海寺蔵
4月7日(月)～4月20日(日)展示



◎朝倉孝景像・朝倉義景像(部分) 心月寺蔵 4月21日(月)～5月6日(火)展示

関連 行事

【見どころ連続講座】

- 3月23日(日) 「越前ゆかりの絵師たち」 藤原千穂(当館学芸員)
- 4月 6日(日) 「小さな工芸品―帯留・印籠・根付―」 高瀬裕美(当館学芸員)
- 4月13日(日) 「和歌と学問」 角鹿尚計(当館学芸員)
- 4月20日(日) 「年中行事と馬威し」 印牧信明(当館学芸員)
- 4月27日(日) 「初花の茶壺」 藤川明宏(当館学芸員)
- 5月 6日(火) 「『御道具』としての刀」 松村知也(当館学芸員)

時間 14:00～
場所 当館2階講堂
定員 60名(当日受付)

◇展示資料リスト

No.	資 料 名	員 数	所蔵者
《北庄から福井へ》			
1	足利尊氏に判御教書	1幅	越葵
2	柴田勝家像	1幅	個人蔵
3	徳川家康書状 結城晴朝宛	1幅	越葵
4	伊達政宗書状 結城秀康宛	1通	越葵
5	徳川秀忠書状 結城秀康宛	1幅	越葵
6	南蛮人蒔絵鞍（復元）	1背	当館
7	藩札屏風	六曲一双のうち	越葵
8	越前屏風	六曲一双のうち	当館
9	福井城下眺望図（写）	1巻	春文
10	京阪街道一覧	1巻	春文
11	福井藩十二ヶ月年中行事絵巻	1巻	春文
12	爆竹調馬之図絵	1巻	越葵
13	鳶に油揚げ・タ立図 高畠夢蝶筆	双幅	春文
14	墨竹図 岡部南嶽筆	1幅	春文
15	踊鯉図 市川徳行筆	1幅	春文
16	虎に鐘図 狩野元昭筆	1幅	春文
17	牡丹図 鶴沢義琢筆・松平吉邦賛	1幅	越葵
18	松竹梅花鳥図屏風 狩野興碩筆	六曲一双	当館
19	松平春嶽筆 「元氣」書	1幅	春文
20	橘曙覧筆 自詠和歌	1幅	春文
21	百老竹置物 島雪斎作	1点	春文
22	柿本人麻呂像 島雪斎作	1点	春文
23	葵紋付紫襦袢失立 島雪斎作	1点	春文

《越前松平家の大名道具》

24	茶壺「初花」	1口	越葵
25	菊唐草蒔絵重箱	1合	越葵
26	鉄龍文鎮 明珍吉久作	1基	越葵
27	瀑布眺望図蒔絵筆筒 狩野典信筆・古満巨柳作	1棹	春文
28	金碧樓閣山水図 谷文晁筆	双幅	春文
29	御大切之御細工物	76点のうち	春文
30	宣徳大手炉	1基	春文
31	伝太田道灌所用琵琶「千鳥」	1面	越葵
32	古歌手鏡 松平定信筆	1帖	春文
33	『源氏物語』『落窪物語』『徒然草』写本 賀茂真淵筆	全28冊	春文
34	『式部生秋篠月清集』古写本 伝慶雲筆	1帖	越葵
35	『源氏物語』古写本「あさかほ」の巻 伝後伏見天皇筆	1帖	越葵
36	薄萌黄色縮緬地御所車に草花流水模様練小袖	1領	春文
37	印籠	6点のうち	春文
38	根付	30点のうち	春文
39	帯留	240点のうち	春文
40	太刀 銘 恒次	1口	春文
41	刀 無銘 来国光	1口	春文
42	脇差 銘 信国	1口	春文
43	黒石地塗葵紋散鞘半太刀拵	1具	春文
44	脇指 銘（葵紋）於武州江戸越前康継／南蛮鉄造	1口	越葵
45	刀 無銘 初代康継 付古鞘（横井小楠鞘書）	1口	個人蔵
46	菊花胡蝶文様蒔絵鞍	1具	越葵
47	桐崩紋銀象眼骨牌札置具足	1領	春文
48	魚鱗具足 明珍吉久・岩井勝右衛門作	1領	越葵
49	金小札緋糸絨二枚胴具足	1領	越葵

No.	資 料 名	員 数	所蔵者
《近代の名品》			
50	写真帳	1冊	春文
51	徳川慶喜肖像写真	1点	春文
52	城下古写真	6枚	春文
53	堆朱（堆錦）カメラ	1台	当館
54	西洋雪景図 徳川慶喜筆	1額	春文
55	書画帖 大沼枕山序	1帖	春文
56	松平春嶽手回り品	24点のうち	春文
57	科学器具類 松平春嶽所用	12点のうち	春文
58	懐中時計・時計鎖・時計掛類 松平春嶽所用	8点のうち	春文
59	真鍮・銀製磁針付万能暦 松平春嶽所用	1基	春文
60	種痘器具 笠原白翁使用	1式	春文
61	朱地金模様盃	2口	春文
62	懐中物・煙草入・煙管	2組	春文
63	末広・夏扇	8握のうち	春文
64	鍍銅花鳥模様花瓶	1口	春文
65	鍍銅金銀象嵌花瓶	2口	春文
66	毛植白馬置物	1点	春文
66	洋剣外装	1具	春文
68	真葛焼白鷺花瓶	1口	春文
69	筆洗・筆架・銀製竹雀模様水滴	3点	春文
70	鍍銅六角形足高香炉	1点	春文
71	薩摩焼紫陽花模様花瓶	1口	春文
72	銅製獅子香炉	1点	春文
73	銀製弁当具	1式	春文
74	御紋草入七宝小箱	1合	春文
75	銀製鶴置物	1点	春文
76	象牙製桜花模様扇	1握	春文
77	銀打出鳩置物 河内宗明作	1点	春文
78	山桜七宝花瓶	1口	春文
79	金梨子地和歌浦蒔絵文台・料紙箱・硯箱	3具	春文
80	牧童図 柴田是真筆	1幅	春文

《博物館の逸品》

81	◎阿弥陀二十五菩薩来迎図	1幀	安養寺
82	◎地藏菩薩像	1幅	性海寺
83	◎朝倉孝景像・義景像	対幅	心月寺

※所蔵者欄の「春文」は当館所蔵の福井市春嶽公記念文庫、「越葵」は当館保管の越葵文庫をあらわします。

※資料番号は展覧会場での陳列番号と一致しますが、陳列の順序とは必ずしも一致しません。

※◎は国指定の重要文化財をあらわします。

※会期中に一部展示替（巻替・頁替を含む）をおこないます。

3/20～4/13展示 4/15～5/6展示
会期中に展示替・巻替をします

《今回の展示》

松平家史料展示室	テーマ展 「銀細工の小箱 ボンボニエール」 5月9日（金）～7月6日（日）
企画展示室	企画展 「福井城跡発掘展」 5月23日（金）～7月21日（祝）

展示解説シート No.32 平成20年3月20日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1 TEL.(0776)21-0489 FAX.(0776)21-1489 印刷:河和田屋印刷株式会社